

産業人クラブだより

—かけはし—



臼井現社長の祖父で京西テクノスの前身
京西電機の創業者 橋立勇氏

右4の25の2



京西テクノスの前身で京西電機の創業者 橋立勇氏

（東京都多摩市愛

い。

小さくても本物

半導体製造工程や医療分野の測定では、わずかな電源ノイズの発生で不良品の発生や測定精度を落とす原因につながりかねない。そこで、鶴田電機（茨城県古河市、鶴田潤社長、0280・92-5225）は、ノイズ対策トランス「ノイズスッパートランス」を1990年代から受注開発・製造。ノイズを制御し、不良発生率の低減や測定精度の維持に貢献している。

同トランスは通常のトランスに比べ、二つのコイルを少し離すことによって、コイルを銅板で包み込むシールド効果によって、ノイズを伝わりにくくしている。これにより、電源ノイズが電子回路に侵入することによるCPUなどの誤作動を抑制できる一方で、装置側のノイズも上流工程への伝達を減少させる安全弁としての機能も持たせた。

半導体製造分野でナノメートルレベル

茨城鶴田電機 ノイズ制御で不良低減



90年代から受注開発・製造しているノイズ対策トランス「ノイズスッパートランス」

（ナルは10億分の1）を求める現代では、この高周波絶縁変圧器の必要性が高まっており、半導体製造装置メーカーを中心にはじめ実績を積み重ねている。

ノイズ対策トランスは海外向けに安全規格「CE」や「UL」に基づき設計されるものもある。高圧用の変圧器などを手がけている技術者が創業した会社として、今後もトランスに関するさまざまな要求に応えていく。

トピックス

大洋エンジニアリング（埼玉県川口市、高橋由貴夫社長、048-288-5015）は、パイプなど向けの曲げ加工装置（ベンダー）を手がける。強みは加工精度を左右する曲げ金型に開して独自ノウハウを蓄積していること。自動車、船舶、家具などさまざまな顧客から高い評価を得ている。

2012年は四国事務所（愛媛県今治市）で造船関連の受注が好調。「以前納入した当社の製品が老朽化したこと」に伴い、注文をもらっている。造船関連の顧客とは付き合いが長い。良好な関係を築けていると思う」と高橋社長は話す。

また、近年は顧客の海外拠点に納入することも少なくない。「特に、ベトナムとインドの工場へ納めるケースが増えている」（高橋社長）。

現在、同社では顧客からの引き合いが増加中。「13年1月以降、受注が増える可能性がある」と高橋社長は期待している。

埼玉大洋エンジニアリング 曲げ金型 ノウハウ蓄積

私は高校時代から祖父と同居して影響を受け、将来の事業承継を意識する。横河電機で6年修行して1998年、28歳の時に京西電機に入社。電子機器の基板組み立て、配線・調整、検査を行う製造部門を担当した。

このままでは長続きしない。思い描いた会社像とのギャップに悩み、一時は古巣に戻りたい衝動に駆られたが、「退路を断つて入社した。自らこの状況を打破しよう」と気持ちを切り替えた。だが、新事業のアイデアは思い浮かばない。

やがて、あることに気が付いた。基板に電子部品を実装する装置は長時間使うと故障する。顧客の納期を守るために、迅速な復旧が欠かせず、夜中でも修理を頼む。費用は夜中に来るだけで10万円、作業一時間当たり10万円が追加され、10万円になる。一方、我々は一つの部品を基板に実装して1円に満たない。

トップインタビュー

引地智恵氏
（宮城産業人クラブ長）



月に設立50周年を迎えた。素粒子や原子核放射光、撮影装置（MR）、半導体装置メーカーなどから高い評価を受けている。次いだ100周年に向けて、研究開発型企業としての将来像を

世界最高水準の安定度 Spring—8に納入

に高い制御レベルの電源装置で、この改善提案は同社から認められ仕事を獲得、その後も古巣の横河電機をはじめ各社と取引を拡大した。

私は高校時代から祖父と同居して影響を受け、将来の事業承継を意識する。横河電機で6年修行して1998年、28歳の時に京西電機に入社。電子機器の基板組み立て、配線・調整、検査を行う製造部門を担当した。

このままでは長続きしない。思い描いた会社像とのギャップに悩み、一時は古巣に戻りたい衝動に駆られたが、「退路を断つて入社した。自らこの状況を打破しよう」と気持ちを切り替えた。だが、新事業のアイデアは思い浮かばない。

やがて、あることに気が付いた。基板に電子部品を実装する装置は長時間使うと故障する。顧客の納期を守るために、迅速な復旧が欠かせず、夜中でも修理を頼む。費用は夜中に来るだけで10万円、作業一時間当たり10万円が追加され、10万円になる。一方、我々は一つの部品を基板に実装して1円に満たない。

この差は何か。私なりの答えは「モノづくらはスピードより価格が重視され、スピリットが重視される」という現実だ。そこで「サービスを立ち上げよう」と思い立つた。（全3回）

10—11月の予定

【10月】

6日（土）茨城産業人クラブ「第9回ゴルフ大会」（茨城県大洗町、大洗ゴルフ俱楽部）

10日（水）埼玉産業人クラブ「分科会」講師：韓国ベンチャー財団副所長・韓信氏（さいたま市浦和区、日刊工業新聞さいたま総局会議室）

10日（水）大阪・滋賀産業人クラブ「大阪・滋賀産業人クラブ共催ゴルフ大会」（滋賀県栗東市、琵琶湖カントリー俱楽部）

11日（木）九州・山口産業人クラブ「ゴルフコンペ」（芥屋ゴルフ俱楽部）

15日（月）埼玉産業人クラブ・NITEC埼玉産学交流会「役員会」（さいたま市浦和区、彩礫石うらわ砂）

16日（火）大阪産業人クラブ「中国・台湾における販売促進ツール制作のポイント」講師：中外執行役員国際事業担当・溝口裕康氏（大阪市中央区、日刊工業新聞社大阪支社10階）

22日（月）埼玉産業人クラブ「第34回埼玉県産業振興懇談会」第1部・埼玉県幹部を囲む意見交換会、第2部・地元優良企業社長によるプレゼンテーション、第3部・特別講演会、第4部・懇親会（さいたま市浦和区、浦和ロイヤルパインズホテル）

23日（火）東京産学交流会（サンザンクロス）10月定例会「景気の下期見通し」講師：日本総合研究所主任研究員・森村（まつむら）秀樹氏（東京都大田区、三井ガーデンホテル蒲蒲田）

25日（木）茨城産業人クラブ「産業技術研究所見学会・交流会」（茨城県つくば市）

25日（木）26日（金）多摩産業人クラブ「北九州市モノづくり視察」（トヨタ九州、安川電機など）

25日（木）26日（金）中国四国産業人クラブ「産業研オープントラボ」（茨城県つくば市・産総研つくばセンター）

27日（土）28日（日）掛川産業人クラブ「ものづくりフェスティン袋井」出展

28日（日）11月1日（木）日刊工業新聞

（全3回）

</